

平成 21 年 9 月度情報発信 No.33

お世話になっております。平成 21 年 7 月～9 月にわたる情報発信をお届け致します。
衆議院議員選挙が 8 月 30 日に行われ、民主党が大勝し 2 大政党の幕開けとなりました。長期間にわたる自民党政治のマンネリ化、このままでは、将来日本はどうかという国民の心配が、リスクはあるけれども初めて政治を民社党に任せようという結果になったと思われれます。この機会に、政治が国民主体の政治となり、民意にも基づく政治の歴史のページが開かれることを切に希望します。

暑さも峠を越え、快適な秋に入りました。旅行、スポーツ、読書、食欲の秋です。しかし、経済の方は、底を打ったようですが、失業率は高く、消費も停滞したままです。まだまだ、辛抱と努力が要るようです。

小生、お陰で健康に恵まれ、仕事と趣味の両立を図っています。所謂、「活到老、学到老（中国の格言で、老いてますます盛んと言う意味です）」で頑張っています。暑い夏を乗り切れたので、これからは、マイペースで業務活動をレベルアップしたいと考えています。

新型インフルエンザが勢いを増しつつあります。皆様方、対策をとることにより、これから冬に向かう時期にインフルエンザにかからないようにご注意ください。

活動報告

特記事項

第 5 6 回材料と環境討論会（於 大阪府立大学 9/28-9/30）実行委員会（7/31）

新表面技術活用耐候性鋼板打ち合わせ 第 1 回（於弊社）（8/9）

事業用空調の腐食問題（出張）（8/10）

亜臨界環境での塩素有機化合物の分解と材料の耐食性（出張）（8/11）

アルミのすき間腐食問題打ち合わせ（於弊社）（8/24）

第 5 6 回材料と環境討論会 実行委員会（8/30）

（社）日本防錆技術協会 矢野専務理事と大阪で会合（9/3）

* セミナー 腐食の基礎・応用・ノウハウ（於神戸市勤労会館）（9/4）

新表面技術活用耐候性鋼板打ち合わせ 第 2 回（於弊社）（9・9）

亜臨界環境での塩素有機化合物の分解と材料の耐食性（出張）（9/10）

* * 図解入門 さびの基礎知識原稿の執筆

* 関連資料、および * * の原稿 90 項目中の 1 例を添付します。

文献

1. 小松，西片，水流：乾湿繰る返し腐食環境下の鋼材に蓄積した水素の電気化学的測定による定量，材料と環境，58， No.7， p.197(2009)。
2. 内山：さびとの出会い，材料と環境，58， No.8， p.287 (2009)。
3. 西片：固体高分子形燃料電池の腐食劣化問題，材料と環境，58，No 8， p.293(2009)。
4. 細谷：材料と環境技術委員会ニュース 給水と給湯水の水質異常，材料と環境，58，No. 8， p.314(2009)。
5. 梅村：報告 第48回技術セミナー 腐食防食専門士による「腐食防食技術実践・応用セミナー」，材料と環境，58， No. 8， p.297(2009)。
6. D.D.Macdonald and X.Guan: Volume of Activation for the Corrosion of Type 304 Stainless Steel in High Subcritical and Supercritical Aqueous Systems(亜臨界および超臨界環境における304ステンレス鋼の活性化量)，Corrosion，65， No.7， p.427(2009)。
7. X. He, B. Brettmann and H. Jung: Effect of Test Method on Crevice Corrosion Repassivation Potential Measurements of Alloy 22(22合金のすき間腐食再不働体化電位測定結果に及ぼす試験方法の影響)，Corrosion，65， No.7， p.449(2009)。
8. E. Mertinez, J. Uruchurtu Chavarin, and J. Genesca Llongeras: Kinetics and Dissolution Mechanism of an Alloy(90%Cu10%Ni) in a Concentrated Solution of Lithium Bromide(濃厚LiBr溶液中における90%Cu10%Ni合金の溶解挙動)，Corrosion，65， No.7， p.461(2009)。